

北朝鮮の事実上の弾道ミサイル発射に抗議する

2016年2月7日 日本平和委員会

本日午前9時30分過ぎ、北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)は国際社会の中止の要求を無視して、事実上の長距離弾道ミサイル発射を強行した。私たちはこれに断固として抗議する。

これは1月初めに「水爆」実験と称する4度目の核実験を強行したことに続く、「弾道ミサイル技術を使ったあらゆる発射」を禁じる国連安保理決議、6か国協議合意、日朝平壤宣言に反する暴挙である。このような軍事的挑発は、地域と世界の平和と安全に逆行し、北朝鮮の一層の孤立を招くだけである。

私たちは、北朝鮮に対し、核・ミサイル開発を放棄することを強く求めるものである。そして、朝鮮半島の非核化と米朝、日朝の関係正常化、北東アジアの平和と安定めざすことを確認した6か国協議2005年共同声明に立ち返り、6か国協議に復帰することを求めるものである。私たちは、国際社会に対し、軍事的緊張を高める対応でなく、結束して問題の平和的解決のための政治的外交的な努力を強めることを求めるものである。